

【本日の配布物】

- ・1月聖務表
- ・1月祈祷カレンダー
- ・OMFニュースレター
- ・新年聖会チラシ

・子どもクリスマス報告

18日の午後3階で実施しました。出席は、子ども17名（幼児6 小学10 中学1）、保護者8名とほかにスタッフで総数45名でした。

子どもの内9名は、無料食品配布に來会された家庭の子どもで、全員昨年クリスマスにも来てくれた子でした。地域伝道の一つの窓口が開かれています。今後はクリスマス以外にも特別プログラムを計画してお誘いするなどの企画を準備できたらと願います。

また、今回もホザナ・青年のメンバーが手伝ってくれて大きな力でした。背後でのお祈りを感謝します。

【新型コロナウイルス対応】

《礼拝出席は事前申込にご協力を》

ご出席者の日ごろのご協力を感謝します。今後も事前の申込をお願い致します。

《礼拝堂での出席を希望される方へ》

※体調がすぐれない、倦怠感があるなどの際は出席を控えてください。

※換気を行っています。コートの着用など防寒には各自でご注意ください。膝掛けの貸し出しもご利用ください。

王は民の祭司長たち、律法学者たちをみな集め、キリストはどこで生まれるのかと問いただした。彼らは王に言った。「ユダヤのベツレヘムです。」

マタイの福音書 1章4、5節

クリスマスおめでとうございます。コロナ禍で一堂に会することは難しい状況ですが、兄弟姉妹と共にイエス様のご降誕をお祝いできることを感謝します。

イエス様の誕生を記す聖書の箇所はマタイの福音書とルカの福音書にあります。ふたつの福音書が共通して記述していることは、それが「ヘロデ王の時代」だったということです（マタイ二1、ルカ一5）。ヘロデは政治家としても武人としても能力が高く、ローマ皇帝の信頼を得てユダヤの支配を託されていました。しかし、その性格は残忍で、保身のために身内さえも殺害し人々

から恐れられていました。彼は武力と権力を盾に恐怖によって支配し、自分に従わないものの命を脅かしました。

そんな彼の耳に飛び込んできたのがイエス様の誕生の知らせです。東方の博士たちはイエス様を「ユダヤの王」(2)と呼び、ヘロデは動揺します。

ヘロデに対してイエス様は対照的な王の姿であったことを聖書は記します。そのことを象徴するのがベツレヘムです。

ベツレヘムはかつてイスラエルの王ダビデが生まれ育った地で、肉体的にはダビデに連なる家系にイエス様が生まれたことは、まさにユダヤの王であることの証しです。

ベツレヘムは「パンの家」という意味です。それは、イエス様が人々に命を与える「天から下って来た生けるパン」(ヨハネ六51)であることを示しています。

神の命に生かされるのか？それとも罪の闇の支配に留まるのか？今、それは私たちの応答に委ねられています。

東方の博士たちはイエス様を選びました。尋ね当てた先にいたのはみすぼらしい家族です。しかし、彼らは目に映る光景に左右されず、貧しい身なりの母親に抱かれた幼子の前に跪き礼拝をささげました。神様が示された星の導きを頼りにしたのです。

今、私たちに示されている星は聖書のことばです。みことばの約束を頼りに、自分の思う通りにならない現実でも、主の導きを信じましょう。主への信頼の証しは私たちが主に礼拝をささげることです。(泰)

12月25日 クリスマス礼拝

第1礼拝 9時 穂谷牧師 荻野し兄

第2礼拝 11時 荻野牧師 高橋美姉

招詞 イザヤ書49章13節
会衆賛美 めさめてたたえまつれ

(1, 3)

賛美 Christmas is a time to love

(1, 2)

主の祈り

詩篇89篇19～29節

交読

礼拝祈禱

使徒信条

特別賛美

リモート賛美

「クリスマスメドレー」

聖書朗読

マタイの福音書

2章1～12節

説教

暗い時代に生まれた主

荻野泰弘牧師

会衆賛美

あまつ御使いよ(1, 4節)

献金

頌栄

聖歌377 すべての恵みの

祝禱

報告

後奏

感謝祈禱

【招詞(主の招きのことば)】
イザヤ書49章13節「天よ、喜びの声をあげよ。地よ、小躍りせよ。山々よ、歓喜の声をあげよ。主がご自分の民を慰め、その苦しむ者をあわれまれるからだ。」アーメン

【本日の予定】

■礼拝映像ネット配信 9時から

■第1礼拝後、第2礼拝後
椅子の拭き掃除

※本日は、午後のプログラムがあるため、第2礼拝後の会堂清掃は椅子の拭き取りのみ行います。

■小学科ホザナ礼拝 3階 10時半

お話し 林修養生

■バイブルカフェ お休み

■映画会 13時15分～ 礼拝堂

■青年クリスマス会 午後 6階

【本日の礼拝奉仕者】

■第1礼拝

礼拝祈禱 林修養生

聖書朗読 司会者

献金1階

献金祈禱 司会者

報告 林修養生

配信 荻野恵行

■第2礼拝

礼拝祈禱 司会者

聖書朗読 司会者

献金1階

献金祈禱 司会者

報告 司会者

会場 司会者

受付

【次週礼拝説教】

説教者 教団理事長 石田敏則牧師

【お知らせ】テレビ番組「ライフライン」(テレビ神奈川/日曜日8時半～)をご覧の方へ。

1月1日は年始特別番組編成のため放送休止です。

【年末年始の予定】

12/29(木)午前10時半～

年末感謝祈禱会

・一年の感謝の証しを分かち合います。しょう。

・午後にクリスマスの飾りを片付けます。ご協力をお願い致します。

2023/1/1(日)午前11時～
聖日礼拝(元旦礼拝)

・2023年は聖日礼拝をもって1年のスタートです！

・説教はオールシオン共通で、理事長・石田敏則牧師の説教です。ビデオメッセージです。

・礼拝配信は11時からです。

1/8(日)成人の祝い

1/9(月・祝)新年聖会(教団主催)

講師 山崎忍師(浅草橋教会)

(詳細は本日配布のチラシにて)

※1/5に予定していたホザナ新年会は都合で延期となりました。

【クリスマスおめでどういざいます！】

イエス様の十字架と復活がいつであったかは聖書の記述から明らかです。それでイースターは毎年移動します。

それに対してイエス様がいつ生まれたかは正確には分かりません。厳密には冬ではないと推定されます。

それでもクリスマスが真冬のこの時期に設定されたのには大切な意味があります。キリスト教が発展した地域においては、この時期は冬で大地が闇に覆われます。特に冬至は一年で最も夜が長い日です。

「光は闇の中に輝いている。闇はこれに打ち勝たなかった。」(ヨハネの福音書1章5節)

世を照らすまことの光として世に來られた方の誕生を記念するにはまさに最適な季節であり、日にちがクリスマスに選ばれました。

街はイルミネーションに彩られています。行きかう人々の多くはクリスマスの本当の意味を知らないがこの国です。それはイエス様がお生まれになったベツレヘムのようにです。羊飼いや同様に福音を聞いた私たちは、この恵みの知らせをしっかりと受け止め、心から主を賛美しましょう。

■青年クリスマス会

秋には青年キャンプを対面で実施し、しみこぼの励ましを受けた青年たち。クリスマスには、リモート賛美への参加やホザナクリスマス、子どもクリスマスでのお手伝いなどをして教会の力となっています。今日の午後はメンバーで楽しいひと時を過ごします。